



謹賀新年



尾道税務署長 磯部 修一



新年明けましておめでとうございます。

一般社団法人納税相談センター尾道青色申告会の会員の皆様方には、健やかな新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

吉井会長をはじめ、会員の皆様方には、平素から税務行政に対しまして、深い御理解と多大なる御協力を賜っており、厚くお礼申し上げます。

尾道青色申告会におかれましては、青色申告の普及拡大、会計ソフトを利用した e-Tax 並びにキャッシュレス納付の利用促進など、様々な活動に取り組んでいただきしております、重ねて感謝申し上げます。

さて、現代社会のあらゆる分野でデジタル化が急速に進展し、経済社会全体が大きな構造転換期を迎える中、税務行政を取り巻く環境は大きく変化しています。

こうした変化に対応するために、税務署では、あらゆる手続きが税務署に行かずでできる社会を目指して、「書かない確定申告」の実現に向けた自動入力項目の拡大など、手続きの簡便化に取り組むとともに、税務を起点とした社会全体のDX推進の観点から事業者のデジタル化にも取り組んでいます。

会員の皆様方による会計ソフトや電子帳簿等保存制度の利用など、取引から会計・税務までのデジタル化(デジタルシームレス)の普及に向けて、より一層の御理解と御協力をお願いいたします。

また、令和7年度の税制改正により「所得税の基礎控除及び給与所得控除の見直し」及び「特定親族特別控除の創設」が行われ、昨年の年末調整から適用されることから、源泉徴収義務者の方々への改正内容の周知・広報等に御協力を賜り感謝申し上げます。

引き続き、令和7年分の所得税等の確定申告につきましても、会員の皆様方が、本改正を正しく理解され、適切に対応していただけるよう御協力をお願いいたします。

加えて、令和7年分の確定申告会場に設置する「青色申告コーナー」には、本年も役員の方々を中心に御従事いただけますとお聞きしています。御従事いただく役員の皆様方と意思疎通を図り、「青色申告コーナー」の円滑な運営に努めてまいりますので、引き続き青色申告の普及に御尽力いただきますようお願いいたします。



会長 吉井 清介



令和8年の年頭にあたり、謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

平素より会員の皆様、役員・職員の方々のご理解とご協力に対しまして心より感謝申し上げます。また、尾道税務署の方々をはじめ関係団体の皆様には一方ならぬご厚情を頂き、あらためて深謝申し上げます。

尾道市の基幹産業である造船・同関連産業では、景況感は好転しておりますが、どの業界においても相変わらず物価高騰や人手不足・後継者不足など、課題が山積しております。令和8年は、明るい兆しが見える事を願うばかりであります。

さて、消費税の「インボイス制度」が始まり4年目を迎えます。複雑な制度なのでご不明な点がございましたら、当事務局にご相談ください。

本年も所得税並びに消費税の申告と納税の時期を迎えることとなりました。本会は1月26日から確定申告相談会をスタートいたします。昨年同様申告予約制をとりスムーズに確定申告相談会を進める為にも、会員の皆様におかれましては、前もってご準備して確定申告相談会にお越しなられますようご協力をお願い致します。

尾道税務署の磯部署長はじめ署員の皆様には、種々ご指導いただくことになりますがよろしくお願い申し上げます。

結びにあたりまして、会員皆様方及びご家族様のご多幸と事業のご繁栄を心から祈念致しまして、私の新年のあいさつとさせて頂きます。

本年も宜しくお願い申し上げます。



因島地区会 会長 巻幡 伸一



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

古くから海とともに歩んできた因島において、造船業は近年の地域産業の礎として重要な役割を果たしてきました。昨年も、船舶建造や修繕などの需要が安定し、関連企業や島内商工業の皆様が困難な環境下でも挑戦と工夫を重ねられ、その取り組みが地域を力強く支えた一年でございました。

しかしながら、燃料・資材の高騰や円安に伴う仕入れ負担の増加など、事業者の皆様には依然として難しい局面が続きました。そのような中、記帳や申告に真摯に向き合い、青色申告制度の適切な活用に努めてくださっている皆様に、心より御礼を申し上げます。

当会は、本年も因島ならではの産業構造や事業環境を踏まえた支援体制の強化に取り組み、地域の商工業とともに歩む姿勢を大切にしてまいります。青色申告制度の充実に向けた活動も継続し、皆様のお役に立てるよう努力してまいります。

本年が、造船の町・因島にさらに希望の風が吹き、会員の皆様にとって実りある一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。



世羅郡地区会 会長 上野 悟



令和8年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、継続する物価高や深刻化する人手不足などの課題に直面し、不透明な経営環境となりました。地域の経済や暮らしを支える個人事業主が持続的に発展していくためには、地域内での連携や新たなニーズを捉えた事業の見直しに取り組むことが求められています。

さて、青色申告会の運営においては、会員数の維持・確保こそが組織の安定と発展の要となります。当会においては、会員数の減少が続き、増強に向けた取り組みも思うような成果に至っていないのが実情です。

今後も、より多くの方に会の意義を理解していただけるよう周知活動を強化するとともに、役員・会員の皆様のお力添えを賜りながら、持続可能な会の運営を進めてまいりたいと存じます。

本年は午年でもあり、勢いと前進の象徴とされる年です。会員の皆様とともに一歩ずつ歩みを進め、実りある一年となることを願っております。

結びに、本年が皆様にとりまして健康と繁栄に満ちた年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。



瀬戸田地区会 会長 金本 光乗



新年明けましておめでとうございます。

健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、物価や人件費の上昇、円安の影響など、事業者の皆様にとって厳しい環境が続く一年となりました。そのような中においても、尾道しまなみ商工会と連携しながら地区会の運営にご理解とご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

本年は2025年税制改正に伴う年末調整の様式変更や、控除制度の見直しがすでに実施されており、事業者の皆様にも実務面での影響が生じています。地区会としてはこれらの変更に対応した情報提供や事務支援を引き続き丁寧に行い、会員の皆様の事業運営をしっかりと支えてまいり所存です。

今後とも当地区会の事業運営に変わらぬご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員の皆様のご健勝とご繁栄を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。